

第36回 ふながた若鮎まつり

# 約29,000人が舟形最大のイベントを楽しむ



9月10・11日、アユパークを会場に第36回ふながた若鮎まつりが開催されました。今年は天気に恵まれ、昨年より3,000人増の、約29,000人が来場しました。

「食のエリア」では、約20,000匹の焼き鮎を350円の特別価格で提供したほか、鮎ご飯や芋煮、やまがた地鶏の炭火焼きなどのおいしい食べ物が増え、勢ぞろい。

「子どもエリア」では、もがみ南部商工会青年部が子ども鮎つかみどり大会を開催しました。スタートの合図とともに、子どもたちが逃げる鮎を必死に追いかけて、見事捕まえたときは、家族と一緒に満面の笑みをうかべ喜んでいました。

さらに「ステージエリア」では、舟形町芸術文化協会発表会や各種団体発表のほか、ゲストの朝倉さやさんや松原のぶえさんの歌謡ショーなども行われ、盛況でした。

舟形町の誇る、香り高い、おいしい鮎。来場者のみなさんは旬の鮎を存分に堪能し、笑顔あふれるまつりとなりました。

Cover Person ~表紙の紹介~



9月4日、堀内町内会の高齢者を対象とした「長寿を祝う会」が、堀内公民館で行われました。会では、堀内子ども田植え踊りや祝舞、マジックショーなどのアトラクションが披露され、参加者は食事を楽しみながら、和やかに談笑していました。

## 広報 ふながた 9

### もくじ ~Contents~

- P3..... ふなびく
- P4..... お見合いマッチングシステム導入
- P5..... 学校保健委員会だより
- P6..... まちのわだい
- P8..... ふれあい広場
  - ・やまがた子育て応援パスポート
  - ・奉納さばね山相撲大会
- P10... 青いシグナル、カメラアングル
- P11... 舟恋、戸籍の窓
- P12... 台風9号による被害と対応

### 町長コラム 早期復旧に向け



台風10号の豪雨災害により亡くなられた方々に心より哀悼の意を表します。また、甚大な被害を受けている北海道、岩手県の被災者に心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧を祈っております。

舟形町では、台風10号の被害はありませんでしたが、台風9号の豪雨により、葉山山系の松橋川流域、堀内川流域で、甚大な被害が発生しております。幸いに人的な被害は無かったものの、避難勧告を発令して、西又、横山、瀬脇、本堀9世帯24人が避難しました。

被害状況は、現在調査中で、これから詳細が明らかになってまいります。9月1日時点で、道路などの公共施設災害11件43,200千円、農地33件10.6ha29,400千円、農業用施設25件43,700千円、冠水などによる農業被害10.8ha6,014千円の被害が出ております。

また、補助災害に該当しないものなどについては、町単独での復旧支援策を検討しております。

これから、台風が多い季節が続きます。一人ひとりが「自分の身は自分で守る」を合言葉に、災害に対する準備を万全にしましょう。

森 富広